

第6回 「作り話」が発覚し激化する攻撃

吉田氏は、事態を乗り切るために、キャンプに行った経緯について、参加者と口裏を合わせて「作り話」で説明してきました。しかし、追及の手は、他の参加者にも及んでいました。それぞれがしつこく事情聴取される中で、キャンプに行ったあるメンバーから、これまでの説明が「作り話」であることが発覚してしまったのです。

このことで、JR東労組浦和電車区分会による吉田氏への恫喝、糾弾は激しさを増しました。しかし、そもそも、なぜ、他労組の組合員とキャンプに行ったことが大問題になるのでしょうか。吉田氏が作り話をしなければならなかったのは、組合の追及から逃れるためでした。他労組との交遊を「組織破壊」として、組合員を徹底して吊し上げる、JR東労組の異常な性質こそが問題であることは明らかです。

異常な事件が繰り返し発生！

先に説明した「積極攻撃型組織防衛論」「平和共存否定」といった異常な組織の論理や方針に基づき、JR東労組では、「浦和電車区事件」以外にも、組織に批判的な組合員や他労組の組合員を多数で吊し上げるといった事件が多数発生してきました。

1996 年 8 月 高崎車掌区事件

同区で、JR東労組を脱退し国労に加入した若手組合員 3 名が、勤務中にJR東労組組合員多数に取り囲まれて罵声を浴びせられ、仕事を妨害されました。乗務員宿泊所でも追及を受け、一睡もできずに乗務に就くという事態も発生しました。3 名はJR東労組に拉致・監禁されて追及を受け、結局、国労を脱退させられ、JR東労組に復帰しました。

1999 年 6 月 上野車掌区「JR連合万歳」事件

同区の若手組合員がピアガーデンでJR東労組への愚痴をこぼし、「JR連合万歳」と言ったことで、分会役員から「組織破壊活動」であるとして、連日の「事情聴取」を受けて長期休暇に追い込まれました。結局、当該組合員は出向発令を受けました。

1999 年 7 月 品川車掌区掲示物破損事件

JR東労組の同区分会青年部長が当時の東日本鉄産労（JR連合加盟）の分会掲示物を剥がして分会長に投げつけるという事件が発生しました。東日本鉄産労はJR東労組を相手に民事提訴し、損害賠償を命じる判決が下されています。

1999 年 8 月 松戸車掌区（常磐線）食堂占拠事件

JR東労組の同区分会の若手組合員 2 名がJR連合ユースラリーに参加したことで、この組合員に徹底した「事情聴取」が行われたほか、組織引き締めのために、「団結うどんづくり」と称して社員食堂を分会が長期間占拠し、他労組の使用を排除するという異常な事件が発生しました。（次号に続く）

【第5部】

作り話が発覚、激化する攻撃

1月19日



その日の午後



キャンプの話は
"ウソ"なん
だろう

すみません



口裏を合わせ
やがって

俺は最初から信用
してなかったんだ



お前を信用した
俺が馬鹿だった



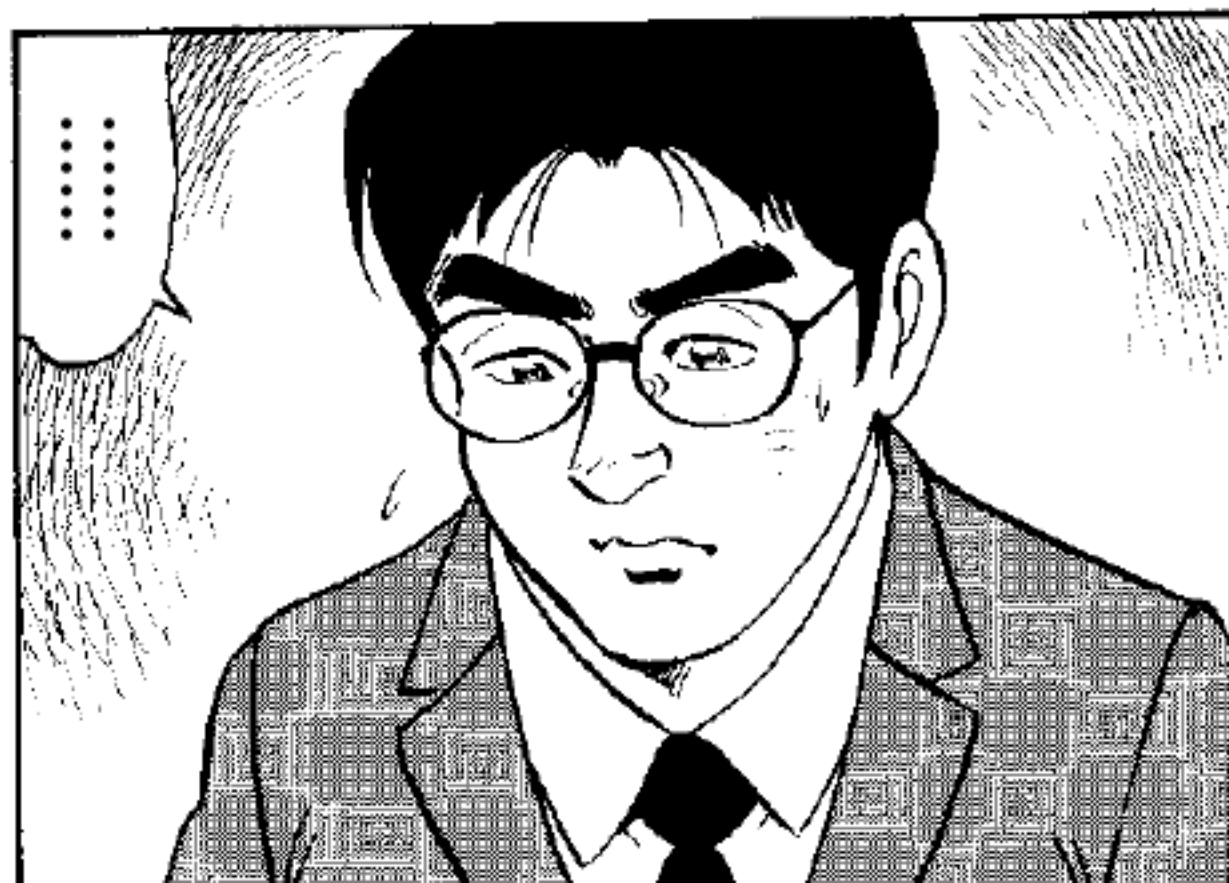
どうする
つもりだ

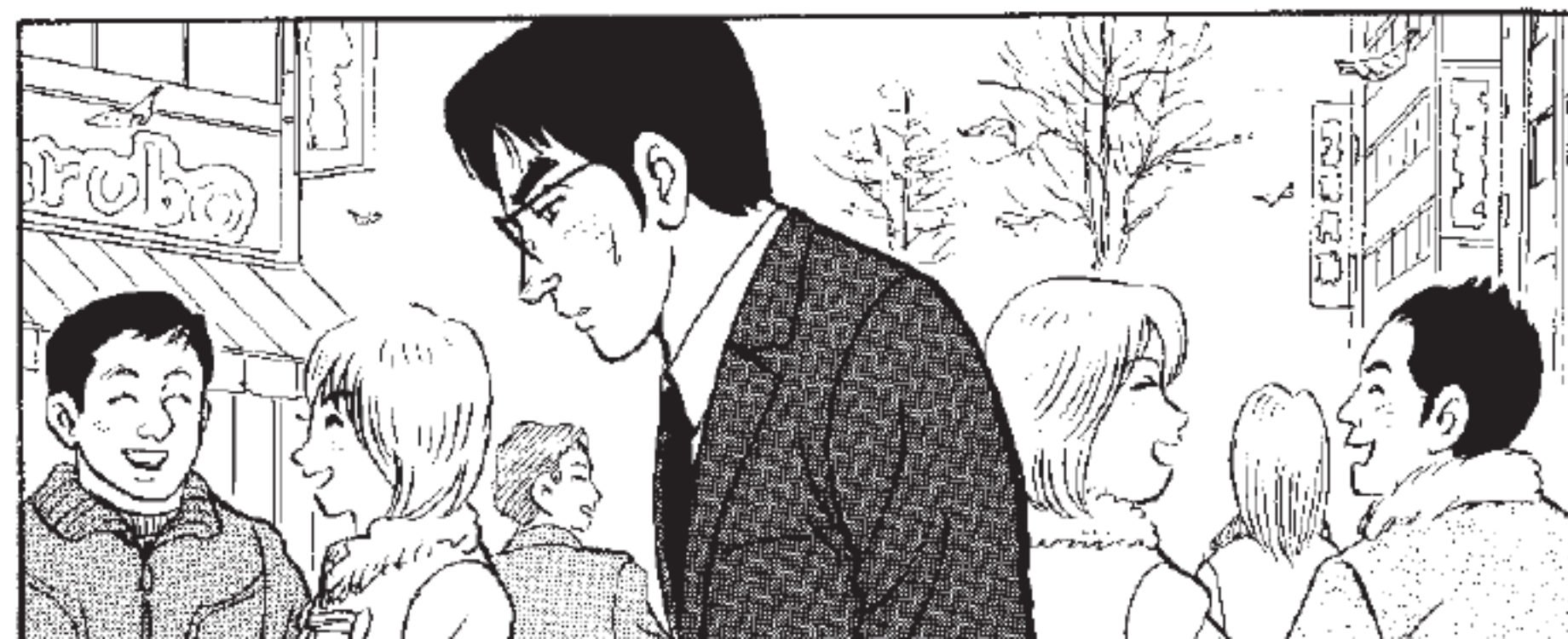


やっぱりお前は
裏切り者だ
組織破壊者だ!



今度こそ
許さないぞ!





浦和電車区分会の
新年旗開きでも――



吉田君の事は
地本でも問題に
なっています
組織として
きちんと対処
しなければ
いけない

正に組織
破壊行為です
おろそかに
できることでは
ない



一方、東京車掌区の
キャンプ仲間も――



裏切りモン！

組織破壊だ！

ウソつきやがって！

黙ってないで
何か言え！

相当ひどく
やられている
ようだけど
大丈夫か？

散々です
この先
どうなるのか
分かりません

君達が
悪い訳では
ない
彼らがあえて
問題にしようと
しているだけだ

それが彼らの
やり口なのさ

ボクもそう
思います

しかし
毎日職場で
顔を会わせる
わけですし……





さらに、電車区の中でも

おい！

ふざけたことをしてくれたなあ

八ッ田富男運転士
分科会常任委員

ちよつと
そこへ
座れ

組合を裏切った
訳だから組合を
辞めろ

組合を辞めろと
いうことは
会社を辞めろ
ってことだ

分かつてる
のか！

ヤクザまがいの
脅しである

お前みたいな奴は
直ぐ裁判沙汰に
するから
手は出さねえ
そのかわり東労組
には「言葉の暴力」
ってものがあるのを
覚えておけ！

黙ってばかり
いるな
俺は革マル
だぞ！

……

